

## 平成 27 年度生徒指導集中対策指定校及び生徒指導実践指定校 「特別活動の取組事例」

学校名	広島市立亀崎中学校	校長氏名	松脇 守弥	生徒指導主事氏名	山縣 雅樹
-----	-----------	------	-------	----------	-------

## 取組事例名 『訪問ボランティア活動』

## 取組のねらい 『豊かな人間性の育成』

- ・ 勤労への意欲をもたせ、自主性・協調性・ボランティア精神を培う。
- ・ 他人に対するやさしさ、他人の立場で考える思いやりの心、他人の人権を尊重し共感する温かい心情を育てる。
- ・ 社会に目を向け、社会の中で自分を自覚し、身近なところから始められるボランティア活動を通じて自治能力を高める。

## 取組の具体的内容 『生徒会活動の一環として』

- ① 生徒会の代議員会を通じて訪問ボランティア参加希望者を募る
- ② 生徒会執行部と参加希望生徒に対して 2 回の事前打ち合わせや指導を行ない、訪問先で行う内容・当日の役割分担などを考え、動きの確認を行う
- ③ 地域にある 2 つの施設（広島原爆養護ホーム倉掛のぞみ園、老人保健施設さんさん高陽）を訪問し、レクリエーションなどを施設利用者の方々と行う



## 取組の課題・創意工夫 『生徒の自主的な活動』

生徒から発信をすることにより、生徒の自主的な活動として取組を進めていくことができている。訪問先の活動内容も、前年までの内容を参考にしながら生徒自身が考えている。そのことにより、各学年約 3 分の 1 の生徒は毎年このボランティアに参加している。



### 取組の成果（効果）『思いやりの心』

当日の活動が終わった後には、高齢者に対する思いやりの心が育っている。また、活動に対する達成感も大いに味わい、参加生徒からは「また行きたい」という言葉が多く聞くことができる。



### 今後の展開『地域の中の子ども』

地域が高齢化した団地であることから、生徒たちは普段から高齢者と接することが多い。これまでの取組による、良い雰囲気を継続して取り組んでいきたい。

### 他校へのアドバイス『地域の特徴』

地域の特徴を活かして活動に取り組めると、無理なく有意義なものになると考えます。